



いんばぬま豆知識シリーズ

# ～工業用水編～



## 印旛沼の水はどう使われているの？



- 昭和26年に千葉市臨海部埋め立て地に川崎製鐵（現 JFE スチール）が進出を決定して工業用水の需要が生まれ、印旛沼がその供給を担うことになりました。
- 京葉工業地帯の発展に伴って水需要も増加し、千葉地区、五井姉崎地区など年間約1億3000万トンの沼の水が利用されています。

**JFE印旛沼浄水場**

千葉港の工場やJFEの製鉄所に24時間休まずに工業用水を送っています。  
面積：5万7千㎡（東京ドーム1.2個分）  
一日に送れる水量：28万㎡（25mプール420杯分）

**佐倉浄水場**

京葉工業地帯の中央部、石油化学工業を主とする企業35社に対して、工業用水を供給する県内で最も大きい浄水場です。  
給水能力は日量40万㎡です。（25mプール600杯分）



**JFEスチール(株)東日本製鉄所**

戦後初の大規模臨海一貫製鉄所として、1951年（昭和26年）に建設されました。  
面積：約766万㎡（東京ドーム約170個分）

千葉県企業局工業用水部のホームページより  
<https://www.pref.chiba.lg.jp/suidou/kykanri/kougyouyousui/gaiyou/gigyou.html>

独立行政法人 水資源機構  
Japan Water Agency

**千葉用水総合管理所**

TEL : 047-483-0722 URL : <http://www.water.go.jp/kanto/chiba/index.html>